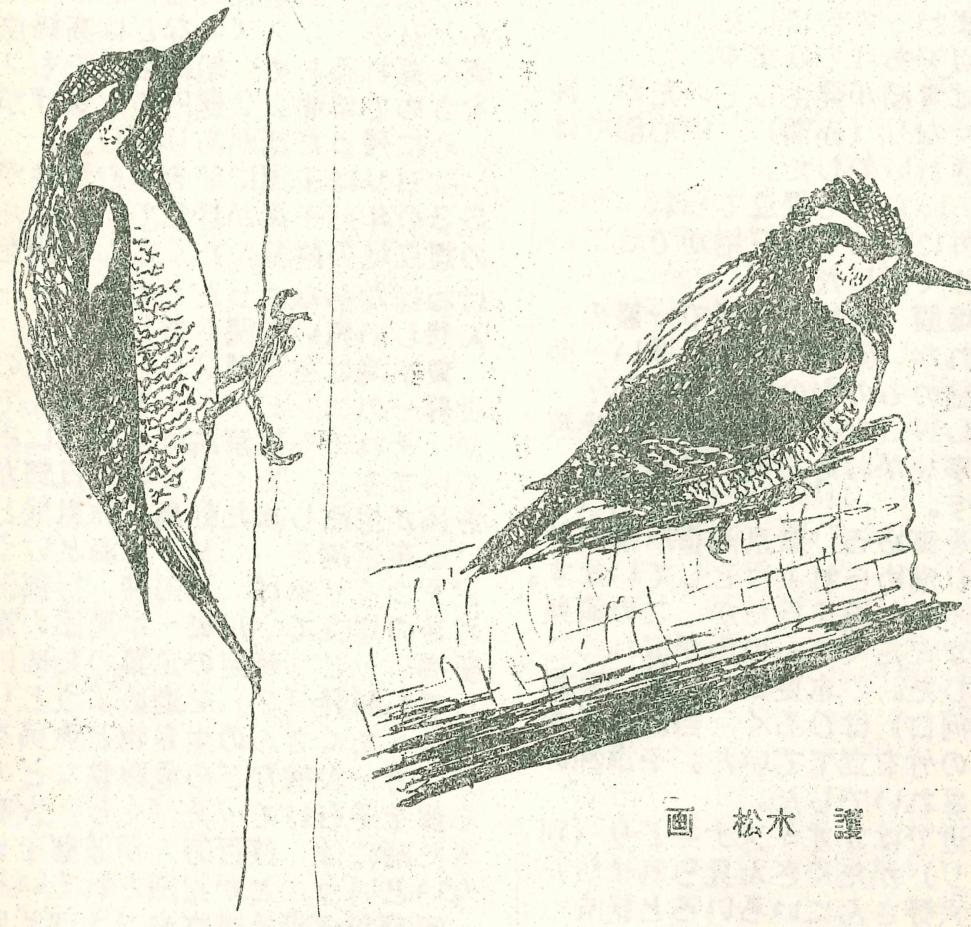


すずがを通信28

1984.10



画 松木 譲

もみじ
秋の夕陽に
照る山紅葉

濃いも薄いも
松を色どる
数ある中に

かえでやつたは
山のふもとの
すそ模様

翔声 はあと

東京湾を見なおそう その②
9月9日 東京湾の見学会（千葉の干潟を守る会主催）を行なわれ 私も参加してきました。

船橋漁協の大野さんの案内で 船橋～浦安～羽田～川崎～木更津～千葉～船橋と湾奥部をまわってきました。

気づいた点をあげてみます。

○船橋港では青潮が発生していたが 沖にいくと赤くなり（赤潮） 中心部では水はとてもきれいでした。

○千潟が1万ha以上も埋立てられ かつ中央防波堤外にもゴミ埋立地ができるため せまく感じた。

○企業専用埠頭 飛行場などで一般の人海に出られない部分が非常に多い…海や 海岸は誰のものなのでしょうか？

○OLPG LNGなどのタンカーが多い 一旦事故がおきたら…と思うとぞっとします。

（この危険を高める 東京湾横断橋の計画がムリヤリ進められようとしています。

○木更津でイワシ漁を見たが この湾奥部でもまだたくさんの魚が取れることが分りました。 木更津沖の蘇洲干潟（小ビッ川河口）はひろく 当日はさかんにノリ用の竹を立てていた。 千潟沖の水はとてもきれいでした。

○潮目の付近ではオオミズナギドリ（別名ツツオドリ）がたくさん見られました。

見学後 大野さんにいろいろと話をうかがいました。

今でも木更津から奥の水揚げは 年間百数十億円あり たくさんの魚貝類が生息する海であり ノリ生産量は日本有数。 ほこっている。青潮…富栄養化した湾では、一度強めの東風（東京湾では「北東風」）が吹くと、雨季の豊富な上層水は沖に押し出され、そこに底層水の下層の水がふき上がり表面でも底面でもなる。

鳥の音

-警官鳥-

時は明治のこと 九州のある地方に一人のおまわりさんが居た。

彼はとてもいはばついて 人を見る 「オイコラ！」などと言つて色々ともんくをつけるので 皆からきらわれておつた。

齡をとつて おまわりさんをやめておまわりさんをやっていたときと 同じ

埋立前 S20年代までは シバエビ ハマグリ ワタリガニ サヨリ スミイカなどがたくさん採れたが 埋立後は少なくなった。 今でも イワシ スズキ ボラなど 回遊性の強い魚はまだたくさんとれる。 スズキなどは高級魚として高く売れるため 船橋漁協でもノリや貝を含めて年間22億円の水揚げがある。 心に残った話がありました。

サヨリは千潟に卵を生む習性があるが S30年代千潟が埋立てられたため、その埋立地の岸壁にたくさんの卵を生み分けねばならなかつたとのこと……たいへん悲しい思いで聞きました。

東京湾は主都圏2000万人の排水と世界一のコンビナートをかかえていますが それでも東京湾は生き物にみちみちっています。 たくさんの魚貝類が棲み魚民が生活しました野鳥の休息地となつていて 東京湾をダメな海というイメージをつくりあげ 羽田沖 行徳沖 横浜おきの埋立て 川崎～木更津の東京湾横断橋……と 特定の企業のために またしても開発（？）を進めようとしています。 たくさんの生き物と魚民を殺しタンカー災害などの危険性などの問題から顔をそむけて……（もし 大事故がおきた時には 数百万人が被害をまぬがれないということが指摘されている。）

家庭から出る排水やゴミなど自分たちの身近かな問題を考えると 同様に すららしい生き物たちの棲む東京湾の巨大開発についてもっと考え 行動していくましょう。（田久保 晴孝）

ような調子なので 何時の間にか 村八分のようになり 村はずれの山奥で一人暮らしをしておつたが 誰にも見とられず一人さびしく死んでしまつた。

誰にも相手にしてもらえずきっとさびしくてならなかつたのだろう 彼の魂は鳥となって 山に棲みついてしまつた。

そして山に人がくると 昔のことを思い出すのか 「チヨットコイ チヨットコイ」と声をかけるのだそう。

（創作 新妻途夫）

鳥の図 はら

-観察会便り-

涼しくなりましたね。 ススキの穂が光り セイタカアワダチソウの花が日ごとに黄金色にかわってきました。 青空を飛ぶアキアカネ 9月27日は空一面のいわし雲 これで雨さえ降ってくれれば……さて 鳥さんたちの近況。

○8月31日の夕方 クロトキ若鳥2羽！ 詳細は資料欄に。

○9月1日の昼前 ウミネコやシギが大さわぎ。 見ると何と2羽のタカ。 チュウヒと違い翼を水平に保ち ゆうゆうと飛んでいます。 やつとのことで望遠鏡の視野にとらえたタカには眉斑がくつきり。 オオタカの若鳥でした。

オオタカ2羽というのは初めて おまけに1羽がウラギク湿地において びっくりと姿を見せてくれました。

このオオタカ君 丸々と太っていて少々風格に欠ける感じでした。

この日は他にチュウヒ トビ ハヤブサ ミサゴが見られたので 計5種となり 巻い盛りとしては信じられないようなタカ類の総出演でした。

○9月17日午後 ショウドウツバメが何羽も上空を飛びました。 あいにく手がふさがって十分に見られなかったので

すが 褐色がかった背面 短尾がはっきりと見ました。 その時飛んでいたツバメは十数羽以上 ただしちゃんとショウドウツバメと確かめたのは2羽。

○カモの初認 コガモ8月26日 4羽 ヒドリガモ9月7日 6羽 ヨシガモ9月27日 1羽 スズガモは9月7日ごろから40羽以上。（越夏群は30羽位）

○ボルトリヌス中華か？ 9月24日の夜保護区内の淡水池に水質調査のため入ったところ カルガモ數羽 コガモ20羽以上が死んでいました。 この日 観察舎からもスズガモの死体2の他 コガモの古い死体が何羽か見られました。

病死と思われますが 死因不明……

さわやかな好天続き 曙さえあれば干草かきに藉を出しています。 11月～5月までの鶯舎の敷草確保のため。

干草には雨は禁物 でも淡水池 新淡水池とも干上がる寸前で 本格的な雨がどうしても欲しい！ この無盾解決のために 大急ぎで干草をとり込んで きちんとしまって それから雨乞いしなくなつちや。 ああ 体が3つ欲しいよー！

（蓮尾 純子）

-友在遠方來-

夜はオーロラ ゴヨーテの合唱一

いいなーっ 私も行きたい……
でも 寒そう。 （蓮尾 純子）

○9月19日；こちらはすでに紅葉も終って枯れ葉の舞い散る季節となりました。 鳥もほとんど南に飛ってしまったらしく 声すら聞くことがありません。 1

1週間程前に学校のとなりの空地で57羽のカナダヅルと200羽位のカナダガルを見ました。 紅葉の山をバックに見るカナダヅルの飛ぶ姿はまさに見ものでした。

昨夜 ゴヨーテの合唱を一晩間以上もベッドの中でたのみました。 初めのうちは 車の音にまぎれてよく聞きどれなかつたのですが そのうち車の通りがほとんどなくなつてからはよく聞こえてすごく良かつた（ほぼ一年ぶりのゴヨーテだもんネ）……でも今夜はだめみたい。

（後略）

○野鳥紳士録

No.6.

○フクロウー前号でもお伝えしましたが、今年の6月に松戸から一羽2万5千円で売られていた2羽のフクロウが観察會へ来ました。そこで今回はフクロウについて。漢字では「梟」。これは象形文字で木の上にいるフクロウを表現しています。フクロウという音の方は羽毛でふくれた姿からとか鳴声からとか悪鳥で母をくらう鳥という意味からきているとか諸説があります。余談ですが「母」という字はその昔「fa fa」と発音したそうです。

英名は「Ural Owl」ウラル地方のフクロウという意味です。

Owlというものは鳴声から来ています。

学名は「Strix uralensis」属名のStrixはラテン語のstrix(フクロウ)から来ています。種小名のuralensisは(ウラル地方の)という意味でフクロウがウラル地方で最初に採集された事を表します。

2羽のフクロウは9月現在1羽は放鳥後行方不明もう1羽はまだ完全な野外復帰ができず夜になると観察會に帰って来ては頭をもらっています。(フクロウのくせに!)これから冬に向ってコミミズクトラフズク等が現われます。だんだん寒くなりますが夕方散歩がてらに彼等に会いに来てはいかがですか。○ジョウビタキ秋もいよいよ本番日増しに冬鳥の姿が目立ってきます。

オレンジ色のおなかをしたジョウビタキももうじき北からやって来ます。

漢字では「常鶩」どこにでもいるありふれたヒタキという意味でしょうか。(以前は尉……と書いてました(尉には龜または炭の燃えた灰という意味あり))

ヒタキというのは鳴声が火打石を打つ音に似ているのでこう呼ばれます。

英名は「Daurian Redstart」。Redstartというものは赤い尾という意味です。(アメリカには尾の赤くないRedstartがいるそうです。)

学名は「Phoenicurus auroreus」属名のPhoenicurusはギリシャ語のphoinix(赤)の属格phoenikos(赤い)+「oura」(尾)から来て赤い尾の鳥という意味です。

種小名「auroreus」はローマ神話の暁の女神auroraのようないい意味です。アウロラは二頭の馬に牽かれた戦車に乗って太陽神ソールの先駆として毎朝天空を飛ぶと伝えられています。ひょっとすると皆さんがまだ眠っている間ジョウビタキは戦車に乗って宙天を駆けているかもしれませんよ。

荒井 八太

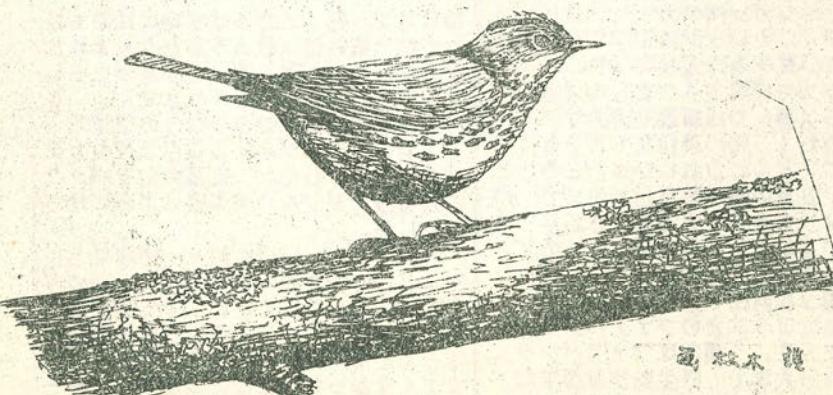
参考図書
ニューサイエンス社

鳥の学名 内田 清一郎

東京堂出版

野鳥の辞典 滝嶋 幸保

法政大学出版局 フクロウ 私の撮影記 福本 和夫



図版 木 鶲

鳴 口 鳥 (さえみり)

前略 8月12日新浜観察会の折は大変御世話になりました 東さんにもよろしく御伝え下さい。1922年生まれで鳥を覚えようと思立ったのは60過ぎですので 視力 聴力も落ちていますし 記憶力記憶力も勿論の事です。

従って入より繰返しが必要な様ですし他人様より教えて頂だくに際しても手間を掛けると思われます。折を見て谷津にも一度参加したいと思いますので その折はよろしく御指導下さい。

新浜で蓮の花が見られると期待して確かめてみたいと思った事があり その目的が果せて うれしく思いました。芙蓉(ふよう)という言葉はアオイ科のHibiscus属にあります(はまぼう むくげ等などとならんで標準和名として初步的な図鑑にも書いてあります。)一方蓮の花の違称として使用しています 何故両者に同じ字を使用するのか解りません。少し前の美人の形容に芙蓉の顔(かんばせ)というのがありました 蓮の花の様な美しい顔というのでしょうか。

唐の白楽天の長言歌(玄宗と楊貴妃の叙事詩)に貴妃の美しさについて「芙蓉は面の如く 柳は眉の如し」と云っているのを知りました。白い蓮はいざしらず紅いのやピンクの蓮の花は或る種のなまめかしさがあり 唐の詩人達はその美をしばしばうたっているようです。

少し脱線してしまいました。芙蓉 芙蓉峰 芙蓉の峰などと富士山の違称として使われています 広辞苑あたりにも当然記載されています。これはかなり一般的に使用されてきました。

鳴呼神州の空高く／そびゆる芙蓉のゆるぎなき／國の守りと集いたる／我に股肱のほまれありーこれは輜重兵の歌です(軍歌)

昭和17年赤紙一枚で駆り出された弱兵の私は輜重兵で 入隊早々覚えさせられた歌です。芙蓉が富士山の異称である事を軍は国民的常識として押しつけた訳?です。さて蓮の花のどこが富士山のそれなのか今まで確認する作業(観察)する機会がなかったのです。

成程 この急勾配は一寸オーバーですが まさしく富士山の形そのものでした。蓮の花の一片が富士山に似ていた訳です。中華料理の陶器のスプーンを蓮華(れんげ)と称するのはまさにそのものばかりでした。
かくして 42年ぶりで宿題が解けた訳です。

蓮の花の美を唐の詩人達はうたい 奈良 平安の日本のエリートたちは その様な自然の美の感じ方を学び取り入れた様です 1000年前の和漢朗詠集を ひろい読みして最近知りました。

蓮の花は不祝儀ののし紙 香典袋などに 蓮弁と流水文様があります。不吉の連想として 忌みられて来て相対的に 蓼の美を民衆が認めなくなつたのか興味ある問題です。

何故蓮に固執するのか それは蓮田の存続に固執するのです。板橋区には竹の子公園 他区では雀のお宿などという名称で 竹林を区が公園の形で保存するようになりました。 そうでもしなければ周辺から竹やぶはなくなり 子供たちに竹やぶを教えるのに困るでしょう。23区内では雑木林も 公園緑地の中に組み込む残すべき方向にあります。薪炭林としての経済性がなくなつたら社会教育の教材としても税金で維持すべきでしょう。

なくなってしまってからの復元は仲々むつかしいので あるものを残すべきですから……

蓮田について私など全く無知です そしてあまりそれについて聞いた事もありません。都内では不忍池 小石川後楽園の庭など 後は何処にあるのでしょうか?

ヒメガマの風力散布力もびっくりするほどです。蓮田の気温 雨量 分布地図など見たことはありません 繁殖は主として根なのでしょうか 実生の発芽力も強いのでしょうか。お茶や竹林は 原産地が日本でないものでも 分布がほぼ暖温

す す が も 通 信

帶 照葉樹林帯と重なり野性化しています。 関東地方の屋敷林や人里の二次林は野性化していく程の生活力があります。 お茶は鳥獣散布の為 関東では二次林の構成種と一つになっています。

／開いたひらいた／蓮華の花がひらいた／ひらいたと思ったら／いつの間にかつ
ほんだ／このわらべ歌の れんげの花を蓮の花だと思う人は非常に少なく れん
げ草と間違えている人が多いようです つまり蓮の花はすっかり大衆から遠ざかっ
てしまつた訳です。とりとめない事を長々と失礼しました。蓮田に案内して頂
いたおかげで あれこれ考えたのだという事を申し上げたかった訳です。

私は物品販売（洋品店）しかも パパママストア（二人きり）なので日祭日は休みづらいのです。けれども一度探鳥会に参加してそのフィールドの使い方を覚えれば 後で一人で行くのが楽です。

今度 谷津へ行つたらよろしく御指導の程 御願致します。

佐藤 淳

59. 8. 12 (日) 午前十時～午後三時 新浜探鳥会
野山を歩くことが好きで 暇を見ては東京近郊の低山ハイクに出かけ ウグイ
やカッコウの音に慰さめられていて 今日は念願の探鳥会に 行徳バス田から妙典
放水路 江戸川堤から新浜と参加させていただきました。

身の丈程もあるハス田に花 ヒメガマとマコ藻の脇を抜け 堤の手前で涼しそうなダイサギを見たのを始めに 沢山のウミネコ バス停の手前で異色のインドハッカ 観察舎からはカワウ カルガモ アオサギの群に ちよこちよことコチドリ シロチドリ クチバシの真っすぐのイソシギに ちよつと反っているソリハシシギ 胸から首にオレンジのマフラーのメダイチドリ。ウミネコは四~五十㌢の大きさであること。人間の生活は盛夏の今 鳥たちにはもう秋が来ていること サギ類は100㍍の遠さで人間を感じることなど驚きました。

江戸川堤の炎天はきつよく陽焼けで少々あわてていますが 夏の光の中で淫世を忘れ島たちに遊んでわらつた楽しい一日でした。

暑い中での御案内 感謝致しております。 小神野 義子

いわしフェスティバル

期日 十月十四日 于 船橋市 三会場
いわしを中心 東京湾と沿岸の市民のかかわり方を 看るよ うとい う集い方



「いわしフェスティバル'84」のステッカー

○主催 東京漁会議いわしフェスティバル実行委員会

千葉県企業庁様

卷之三

行徳野鳥観察会友の会

野鳥観察舎前水路の浚渫工事についての要望

私達野鳥観察舍友の会は観察舍周辺に残された貴重な自然にひかれ集まってきた者達です。

水のある風景はどうしてこうも日本人の心を揺り動かすものがあるのでしょうか。日本人にとって水のある風景は心のふるさとなのではないでしょうか。

す地くつ洗はく一、みに河水めが、みに河水めが、の生き湿地早が、と深。物飲水の排埋べ濫、違水り低つに要水活し食たか。くそるはつ氾私達まさにず陸重と生で路がたべ。くそるはつ氾私達集うがりも山の山塙でめま、な々河等できても寄りよ方たて人々せ、のきいめさ様なぎが寄るのでしに人ま米もは思こ小にき驛家がられ舟にときとりでた昔とじ、め大水な人々なり海水ま水あ段き、だ封したな漫き人見より用。には手て々の、汚のう、大きてもの通り活たうで通つ等たてをそよ濫な大きにくを生じよの交通水つ捨水。る氾派の立と語歩路でのもなを用いり?たえの立道物を水なくろこな要川のて切かし思川んな舟か陸のでこ。異電河どめにうまと河んではべ。中けとす特もなな治免よいか小どんでは青たのだけたでの轟みばを御しまさ中。けまはし田てしのけは々ん水役でしまります。ま前辺で遠しでただ川等た、おいて。なり年周段、とまつ区河物、れになしす。益題あり安手面段びだ地り反類そ單はにま度問も10浦通一手浴柄のなの貝お籠で路い、す僧の。交通水間こ小類魚にもの水て染が価ん徳なす。交通り、いのはり衣の時にた掛け汚るのほ行要です。り、いのはり衣の時にた掛け汚るのは。重のたれたれた大材し、余ま家庭は足を一路たがしつ切いたは木とみはしの達不底ば水し舟つま使もてでの物し達て渠私の根れので、だしにてれまい食親私暗を水活のけこの場で、利り物つば前ま、れをにかしみ活ながる帶更とい切吉主、K、K、名略主、E、E

都心のビルの屋上で繁殖したカルガモが多く新聞紙面に紹介されるのを見ても、多くの人々が心の奥で自然との触れ合い、水辺に対する郷愁をもっているのではないでしょうか。

こでらが境も区域は最も保護された鳥類の生息地である。この場所は、自然環境を保つために、鳥類の繁殖地として重要な役割を果たす。

(3)

れた「水鳥の繁殖地」なのです。それだけに、この水路なくしては保護区内で繁殖する水鳥がほとんどなくなってしまいます。やはり新しく造成された保護区内より、長い年月と歴史をかけて自然にできあがった水路の方が自然環境が素晴らしいところなのだと思います。

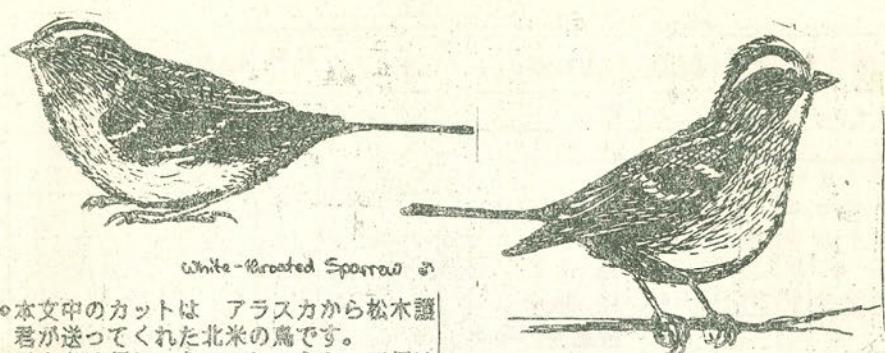
一番最初に目につく場所であり、人通りのひんぱんな道の脇であるにわかわらずこれまでに自然環境が保全されてきたというは葦など水草に負うところが太であると思いません。かなりきたない家庭排水が比較的短時間で浄化されるのは驚くべきことです。ある国では葦の浄化作用を守るため、葦の保護法を作りきびしく規制しているとさえ聞きます。

このように自然の力は偉大ですが同時に微妙なバランスの上になりたっているので人為的な力にはひどくもろいものです。長い年月かかって上がった水路の自然環境、自然の浄化力をこわさないためにはこのたびの浚渫工事はかなりの危険をはらんだものといえます。

奥いが問題になつてゐることですが、浚渫によりせっかくの自然浄化力が失われ、より一層の汚濁、臭いもひどくなるのは行徳のほか遊水池をみても明らかなことです。この水路は人の通り道と並行して走っているものです。人々のいこいの散策の道となっています。犬を連れて散歩をする人、ジョギングをする人、学校の行き帰りに使う人、赤ちゃんと連れて散歩する人、子供達の散歩道、お年寄りがゆっくり歩く道、道端の草花をスケッチする人、アリの行列についていく子供、サッカーノの練習をする小学生、手をつないで歩く恋人達、家族連れのハイキング、草の間から水路の鳥を写す日曜カメラマン、様々な人がいます。この水路が浚渫され深くなるとかなり危険になることは明らかです。行徳での浚渫された遊水池での悲しい事故死は思いだすだけでも胸が痛みます。つくづくどうして人は水にひかれ誘いこまれてしまうもののかと再認識してしまいます。二度とこのような事故を起こしてはなりません。

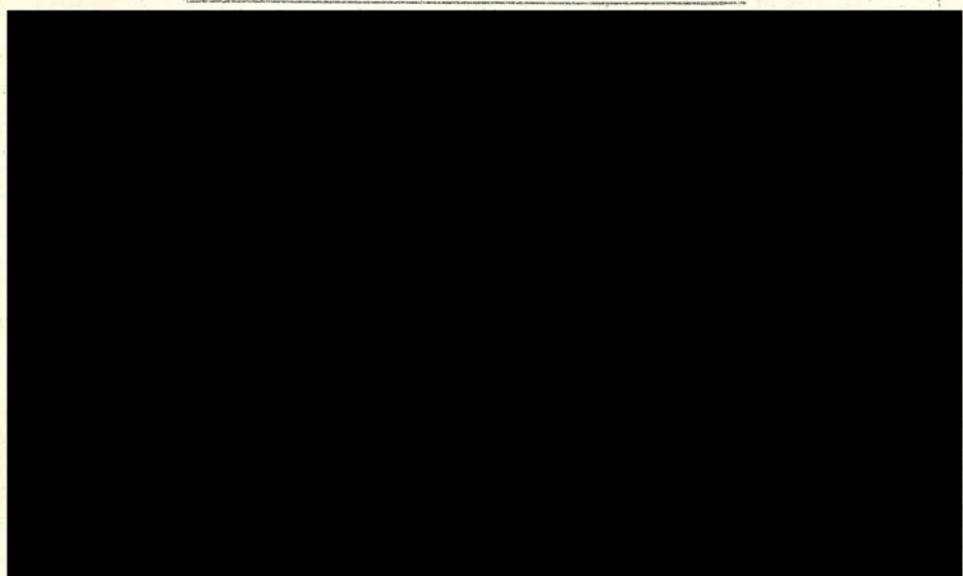
以上に述べたようにこの水路の重要性を考え、浚渫工事を再考してほしいと思います。この「鳥の楽園」を裏の鳥の楽園、人々の裏のいこいの場、子供達が自然にふれあえる場、昔の小川や、水と遊んだ日々が戻り出されるよすがとなるようところ、心のよりどころ、行徳がふるくなるべくより一層、保全をお願いしたいと思います。

行徳の子らが、育々とした水草のはえる水色の川の絵をかけるよう微力ですが友の会も力を尽くしたいと考えております。



・本文中のカットは アラスカから松木譲君が送ってくれた北米の鳥です。
日本名は何というのでしょうか 正解は次号で発表したいと思います。
(実は私にも分りません)

画 松木譲



事務局から御知らせ

○会員番号について
封筒の宛先の右下にある数字は“会員番号”で、会員切れの年月十会員の種別を表しています。例えば6002Fならば、昭和60年2月に会員の切れる普通会員を表します。Sは賛助会員 Jはジュニア会員を表します。
会員を御払い込みになられると、数字が変わります。注意してごらん下さい。
なお一年の会員は次の通りです。
普通会員1000円 ジュニア会員(高校生以上) 500円 賛助会員2000円以上です よろしく御願いたします。

5月の鳥の記録 1984

種名	記録日数	最高数	最高数記録日付
カツツアリ	6	3	5/2
カワウ	25.1	30	5/21
ゴイサギ	28	11	5/6
アマサギ	2	9	5/6 通路, 加賀海岸
ダイサギ	23.1	2	
コサギ	21.1	6	5/6
アオサギ	15.1	4	5/6 滝水池
マガモ	41	1	越冬地, 游泳場
カルガモ	30	43	5/6, 各地でみた
コガモ	22	158	5/6, 鶴飼野
ヨシガモ	4	4	越冬地
オカヨシガモ	20.1	2	鶴飼野
ヒドリガモ	5	25	越冬地
オナガモ	14.1	6	
ハシゼロガモ	4	16	5/6, 越冬地
キンクロハジロ	20.1	2	鶴飼野 5/6
スズガモ	29	940	5/1
コジュケイ	1.2		鶴飼野
キジ	20.2	4	
バン	26		4~5月頃はヒナがれ
オオバン	4.1		鶴飼
コチドリ	16.2	3	5/4
シロチドリ	25	8	5/2
メダイトドリ	9	24	5/2
ダイゼン	19.1	6	5/6
キヨウジヨウジ	11.2	20	5/6
トウキン	14	22	5/6
ハマシギ	16.1	200	約, 鶴飼 5/6
ツルシギ	12	3	5/6 水路
アオアシシギ	18.2	2	初認 5/6
セイシシギ	15.1	2	初認 5/6
イシシギ	10	1	
ツリバシシギ	20	5	5/6, 初認 5/6
カツバシシギ	17.2	26	5/6
チフツバシシギ	11.2	3	5/6
セイタカシギ	4.1	3	鶴飼, 水路, 游泳場
アカヒヒ	1	8	5/6
ユリカモメ	16.1	50	5/6, 鶴飼 5/6
セグロカモメ	2	2	5/6 5/6
アシサシ	3	29	5/1, 初認 5/6

今日は新旧交代が大々的に行なわれました。カモ類をはじめ、保護区の冬のスターたちがのどもみ姿を消し代わって、北へ向うまぐさ仲間で、キアシシギ(?)のような、置いたグループが現われています。終認は12種、初認は5種。また、はぐくもカルガモ、バン、セグロヒナゲシが観察されています。

ヒナの初認。
カルガモ 5/3
バン 5/1, 水路
モズ 5/6 竹ヶ原, 5/6 鶴飼入口

(まとめ、百瀬)

6月の鳥の記録 1984

種名	記録日数	最高数	最高数記録日付
カツツアリ	7.3	1	藻水地
カワウ	22	59	5/24
ヨシゴイ	21	1	初認 5/6
ゴイサギ	25	9	5/21, 本路
ササゴイ?	1	1	5/20 上空を北へ飛ぶ
ダイサギ	21.1	12	5/29, 幼鳥観たる
コサギ	28	30	5/27
アオサギ	18	6	5/22
カルガモ	27	18	5/29
オナガガモ	3.2	2	
スズガモ	22.1	15	5/4
キジ	19.2		ヒナづれ
バン	21		ヒナづれ
オオバン	4.2		鶴飼
コチドリ	23	7	5/3
シロチドリ	20.1	13	5/9
ダイゼン	5	3	5/13, 春期
アオアシシギ	4	1	
キアシシギ	1	1	5/21
イソシギ	9	3	5/28
ソリハシシギ	10	5	5/28-29
チュウミクシギ	6	1	5/24~27, 石見ヶ原
セイタカシギ	4.2	4	5/3, 鶴飼
ウミネコ	10.1	30	5/28, 初認 5/6
アシサシ	1	7	5/3
コアシサシ	26.1	90	5/29
ドバト	26	13	5/29
キジバト	17		
ヒバリ	4		song.
ツバメ	17.2	50	5/27
ハクセキレイ	2.1		
ヒヨドリ	17.2		ヒナづれ 5/29
モズ	1		5/24 鶴飼
ウグイス	1	1	5/28 song 5/29
オオヨシキリ	22		song
セッカ	7.3		
カワラヒワ	11.1	4	5/3
スズメ	24	94	5/29
ムクドリ	17.3		
オナガ	7.1		

行事案内

○新浜自然観察会

10月14日、11月11日、12月9日。
 集合：東西線行徳駅前 午前10時
 解散：野鳥観察舎 午後2時半頃
 わずかに残されている妙典地区の湿地
 や保護区で、カモ サギ カモメ バン
 などの水鳥を中心に動植物の観察をしま
 す。（午前中は江戸川放水路 妙典の観
 察をして、午後は保護区の中に入れてい
 ただく予定です）。お弁当 水筒
 雨具 ポウシ等おわすれなく。

○虫の声とネグラ探鳥会

10月28日（日）
 集合 観察舎前 午後4時半
 解散 午後6時半頃（担当 運尾）

○新浜のありし日を偲ぶ探鳥会

10月28日（日）
 集合 浦安駅前 午前9時
 解散 行徳橋南詰 午後4時頃
 かつての世界的な渡り鳥の渡来地であった新浜の往時の探鳥コースを歩いて見よう
 いうものです。

案内は新浜3人娘（？）の1人である蓮屋 純子幹事を予定しています。
 浦安から江戸川放水路まで歩きますので健脚の方向きです。

途中 行徳野鳥観察舎で昼食を摂ります。

持物 昼食 雨具 水筒 お小遣い ガンバル気持 他

参加費 100円（友の会会員は無料）

担当 寺田 一哉

蓮屋 純子

共催 千葉県野鳥の会

一、事務局より

今年度の会費を納めて下さい。一般会員1000円 賛助会員2000円以上
 ジュニア会員500円です。観察舎でお金を預ってもらいます。
 その他 絵はがき シール 鳥のマスコット 鳥の図鑑なども販売しています。

編集後（備）記 妙典のハス田には、11羽のセイタカミギ（幼鳥 2家族 6羽、成鳥 2羽）
 がみづれました 10/10、セイタカミギの冬のエサ場でもあります妙典はいつまで
 残したいものです。

新しいタイプにもようやく慣れて来ました。編集内容について御意見がありま
 たらどうかお聞かせ下さい。（途）

すずがも通信	発行人 龜谷栄	
NO. 28	事務局 鈴木有	
59年10月8日発行	編集人 田久保晴孝	
振替仙台 6129	新妻 途夫	
年会費 1000円	行徳野鳥観察舎	〒272-00市川市程栄4-22-11 TEL 0473(97) 9046